

文教安全常任委員会における八千代市防犯組合連合会との懇談会報告書

- 1 開催日時 平成28年10月5日（水）午前10時から
- 2 会場 市役所4階第2委員会室
- 3 テーマ 八千代市防犯組合連合会の活動について

4 参加者

(1) 八千代市防犯組合連合会

会長及び事務局次長ほか、副会長（地区長）5名

(2) 八千代市議会文教安全常任委員

委員長	山口	勇	副委員長	伊東	幹雄
委員	伊原	忠	委員	奥山	智
委員	高山	敏朗	委員	立川	清英
委員	林	利彦			

5 開催の趣旨

本委員会は、八千代市防犯組合連合会（以下、「防犯連」という。）が、青色パトロール車によるパトロールや地域の夏祭り・八千代ふるさと親子祭の警備などを通して、八千代市の防犯に多大なる貢献を行っている現況について理解を深める目的で、防犯連の会長を初めとする地区長等を招き、上記のテーマで懇談会を開催した。

6 懇談会の経過

会の冒頭、各出席者の自己紹介が行われた後、防犯連会長より防犯連の活動の現状についてレジュメを用いた説明、さらに出席している地区長より、防犯連の各地区での活動についての説明がなされた。これを受けフリートーク形式で意見交換を実施した。

意見交換では本委員会委員から、各地区の活動において苦勞していることについて質問がなされ、多くの地区長からは、地区で実施される夏祭りの警備については長時間従事することから負担が大きいとの意見があった。

そこで、本委員会委員からは、地区の夏祭りにおける八千代市交通安全協会との連携について質問があり、ある地区長からは、自分たちの地区の祭りにおいては同協会の参加がないとの発言があったために、委員からは今後、同協会に対し協力を求めるべきとの意見があった。

また、この意見交換の中では、指導員について、青色パトロール車による巡回を実施するために75歳定年制があることから、全地区において委嘱年は後任者選びが困難な現状である。そのため、防犯連では今年度より改善策について検討を行っている最中であり、さまざまな団体と連携を強化し防犯活動への理解と協力を得る努力をしているところである。また、各地区内においても、業務負担の軽減を考えた取り組みを行っているとの発言があった。



本会は、1時間半余りの意見交換が続き、本委員会委員長から結びに、本会で伺った意見を今後の委員会活動に生かしていきたいとの発言があり、本会は終了した。